

第3学年1組 国語科学習指導と評価の案

平成17年 10月4日 (火)

授業者名：「かがやきコース」 桑山 明美

場 所： 3年1組教室

1. 単元名 大事なことを確かめよう「食べ物がかせになろう」

2. 本時の目標

読み手に分かりやすい文章を書くためには、組み立てメモをもとに、それぞれのまとまりごとに段落をつけて文章を書くことが大切だと分かり、段落相互の関係を明確にしながらかんまりやすい文章を書くことができる。

3. 本時の評価規準

- ・組み立てメモをもとに、それぞれのまとまりごとに段落をつけて文章を書いている。
- ・段落相互の関係を明確にしながらかんまりやすい文章を書いている。

4. 子どもづかみの具体

学ぶ意欲：「魚を長持ちさせる方法を分かりやすく伝えよう」という共通課題に向かって調べ学習を行うが、情報カード作りや組み立てメモ作りはかなり抵抗がある。

学ぶ力：組み立てメモを生かして、文章にする方法やつなぎ言葉の効果的な使い方が十分身に付いていない。

学び得た力：メモと文章の違いが分かり、文末表現に気をつけて、段落ごとにまとめて書くことや主張点を明確にして書くことの大切さに気づけない子が多い。

5. 本時の展開 (12/15時) ★「かがやきコース」の特徴

過程	主 な 学 習 活 動	研究内容の具現のための手立て
つ か む	1. 課題 ★前時の組み立てメモをもとに、課題を設定する。 組み立てメモをもとに、調べたことがはっきり伝わる文を書こう。	<子どもの実態に応じた学習形態の工夫> 理解力・表現力の違いから習熟度別少人数を編制し、実態に応じた効果的な授業を進める。 【研究内容Ⅲ③】 <学ぶ意欲> ★<課題意識を引き出す導入の工夫> 示した例文から、事柄ごとにまとめて、段落を分けて文章を書く活動に見通しを持たせる。 【研究内容Ⅲ②】
	2. 見通しを持つ 「はじめ」「おわり」の内容を確認する。 組み立てメモの文書化のポイントを確認する。 段落をはっきりさせるポイントを確認する。	<学ぶ力> <書くこと領域における課題追究の手だての明確化> ①「はじめ」「終わり」の内容をもう一度確認し、主張点をはっきりさせる。 ②組み立てメモを文章にするポイント（段落・主語と述語の照応・敬体表現）を押さえる。 ③「すがたをかえる大豆」を手がかりに、つなぎ言葉の使い方を確認する。 【研究内容Ⅲ①】
	3. 自分学び ★組み立てメモをもとに、「はじめ」「情報カード1」を文章にする。 ・主張点を確かめて、文章の紹介部分にあたる「はじめ」を書く。 ・段落を意識して「情報カード1」の内容を書く。 書いたら自己チェックをし、訂正する。	<学び得た力> <子どもがより表現方法に気付き、課題を追究していく力を伸ばす場と方法の工夫> 机間指導で、よりよい表現方法に気付き、課題を追究していく様相を把握し、一斉指導に生かす。 【研究内容Ⅰ③】
	①組み立てメモを丁寧な言葉に直して書いている。 ②「はじめ」「情報1」を段落に分けて書いている。 ③つなぎ言葉を使って書いている。	<学ぶ力> ★ <子どもの実態に応じた指導・援助の工夫> 一斉ポイント支援 表現の仕方につまずきが多い場合、課題追究に見通しが持てている児童の作品や例文を示し、再確認させる。 【研究内容Ⅳ①】
	4. 学び合い交流会 ★一つ例を挙げて、チェック項目を手がかりに一斉に表現のよさを見つけ合う。 ・ペアで相互評価をし、アドバイスをもち、より分かりやすい文章に直す。 ・友達から学んだことやできたことをまとめる。 ○組み立てメモを丁寧な言葉に直して書いている。 ○「はじめ」「情報1」を段落に分けて書いている。 ○つながりがよく分かるように、つなぎ言葉を使って書くといいよ。 ○友達の上手なところをまねて書いたら、分かりやすくなった。	<学び得た力> <言語能力の高まりを自覚する指導の工夫> ①ペアでの相互評価を通して、段落の明確化・文章のつながりのよさや課題に気付かせる。 ②学び合いを生かして推敲させる。 【研究内容Ⅳ②】
	5. まとめ 組み立てメモをもとに、事柄ごとにまとめて、段落やつなぎ言葉をつけて書けば、自分の調べたことを分かりやすく伝える文が書ける。	<学び得た力> <言語能力の高まりを自覚する指導の工夫> 「学び合い交流会」で学んだこと・深まったことを自覚させる。 【研究内容Ⅳ②】
6. ふりかえり 3つの観点（学ぶ意欲・学び方・学び得た力）について教師による評価を行う。	<学び得た力> <子どもの学びのよさを価値付ける指導の工夫> 「学ぶ意欲」「学ぶ力（評価規準の達成度）」「学び得た力」から見たよい姿を価値付ける。 【研究内容Ⅳ③】	

